



海底が隆起して出来た室戸ジオパーク



地元ガイドさんの説明で室戸「再発見」です

感無量の室戸ジオパーク

わくわくうきうき「春の歩こう会」

に行く、一番乗りと思いきや蔵福寺島の大島さんが来ているではないか。聞けば本日の参加費用の集金を行う係との事、いやはやご苦労様です。

出発予定の8時30分には参加者22名全員が集合し順次乗車完了です。バスの中で島崎岩村地区会長より本日の行動予定と注意点が報告され、一路室戸へ出発です。道中、右手土佐湾には太陽がキラキラと海面に反

5月10日(木)に健康文化都市づくり推進委員会主催「春の歩こう会(室戸ジオパークへ)」に参加させていただきました。ここ数日間天候もよく前夜からは50数年ぶりに(小学生のように)こころワクワクと気持ちが高揚し、なかなか眠りにつけませんでした。夜明けを待ちかねて起床し、身支度を整え集

合場所の岩村ふれあいセンター射する穏やかな太平洋を眺め、左手前方には安芸、奈半利、室戸にまたがる尾根筋。もえぎ色の世界が広がり、目にやさしい景色が後へ後へと飛び去っていきます。バスの中では久しぶりに会う他地域の方々の会話が弾み、ワイワイガヤガヤこのパワーには感心し元気な岩村を垣間見た気がいたしました。

運動手さんのゆったりとしてやさしい走行で目的地「室戸ジオパーク」に到着です。海岸の岩礁遊歩道を散策しながら、地元女性ガイドさんの説明では、ジオ(地球または大地)・パーク(公園)のことで「室戸ジオパークは白亜紀から海洋プレート沈み込みと、室戸沖にある南海トラフに沿って起こる巨大地震によって海底が隆起し大地が誕生する地球のダイナミックな変化によって出来た地質や、地形を見ることが出来る」との説明を受けながら岬めぐりをすると、今まで幾度となく訪れた室戸半島にはただ驚くばかりでした。それから約1200年前に弘法大師がこの中で修行し悟

りをつらいたと伝えられる御厨人窟(みくろど)の奥で修行中、外に見える景色は「空」と「海」だけであったことから「空海」と名乗ったと伝えられています。

ジオパークめぐりも予定時間通りに終わり、お待ちかねの昼食は岬の突端にある視界300度が見渡せる絶景「ホテル明星」で楽しく頂きました。食後ゆったりと休憩の後、バス移動をしてドルフィンセンターでイルカの餌やりと訓練の様子を見学しましたがイルカの知能が高いことに驚くばかり、脱帽の限りでした。

本日の、わくわくうきうきの全行動予定は無事終わり、帰りには運転手さんの計らいでキラメッセ室戸、田野駅屋、再度安芸ばさん市場に立ち寄っていただき沢山のおみやげを手に、薫る風が頬をなで、甘い潮の香りを嗅ぎながら心地よい疲労感に包まれて、定刻通りに岩村ふれあいセンターへ全員無事に帰りました。

(寄稿者・包末 入交 満)